

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢んぼ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年6月 1日 ～ 令和7年6月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和7年6月1日 ～ 令和7年6月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年8月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの発達段階に応じた活動プログラムを組み、ただけでなく将来を見越して必要な療育を個別また、集団生活の中で行っています。	活動によって年齢や発達段階でのグルーピングを行い、一人ひとりの目標や課題にあった活動を通して学びができるよう心がけています。	活動を計画する際に、細かい目的や目標をスタッフ間で考えて共有していくことで、よりご利用者様のニーズに沿った支援をしていくことができるようにしていきます。
2	実際に自分で体験する機会を増やすことを大切にしています。	食べること、触ること、見ることなど自分で肌を感じることで学べるがたくさんあります。外食やお買い物、電車体験など自分で注文したり、お金を払うことをしたり、調理実習では初めて食べるものや素材にもこだわり、体験できる場を多く設けています。	子どもたちや保護者様からの意見も取り入れながら、どのような体験をしていくと将来子どもたちが役立ち生活をしていきやすいのかを考え、実施していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ間の情報共有が時折円滑に行うことができていないことがあります。	特に勤務時間、出勤時間が違うスタッフとの情報共有ができていないことがあり、伝えたスタッフと伝わっていないスタッフがいることがあり、変更点など情報漏れがあることがあります。	全員が周知できるように、口頭での伝達、教室内のホワイトボードを活用するなど全員で共有できるように努めていきます。
2	夢んぼで過ごしている様子を知っていただく機会が少ない。	保護者様が来所する機会である面談時は学校に行っている時間のことが多く実際に活動を行っている様子を見ていただく機会が少ないためだと考えます。	要望に応じて活動の場を見ていただくことができる場を設けたり、インスタグラムで普段の様子を発信しているのにより知っていただけるように伝達をしていきます。発信回数も増やしていきます。また、面談以外でも送迎時や電話などで普段の様子を伝えていきより安心して通っていただくことができるよう努めていきます。